



麦笛

24号

2015年12月12日

発行
東京尊商会広報委員会

発行人
村井 健 (51期)

E-mail
murai-49@central-consul.
co.jp

第64回 東京尊商会総会 「同窓の絆」 開催

東京尊商会会長
41期 中村みのり

師走の候、会員の皆様におかれましてはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。去る10月17日(土)御茶ノ水「東京ガーデンパレス」に於いて109名のご参加をいただき平成27年度東京尊商会総会「同窓の絆」を開催いたしました。

ご来賓として、遠路小樽から大森尊商会長、新山学校長、尊商会小谷事務局長、笈田監事の皆様にご臨席を賜りました。総会に先立ち、全員による校歌斉唱、今年24名(届け出をいただいた方)の会員の方々がご逝去されましたので黙祷を捧げました。

議なしの承認をいただきました。続きまして大森会長、新山学校長から、5年後には廃校になる母校への心情、尊商会のこれからの動きも含めたご挨拶をいただきまして、すべて滞り無く総会は終了しました。

懇親会は、尊商会小谷事務局長からご挨拶と乾杯の音頭をいただき開会となり歓談に入りました。間もなく、はがきアンケートによる「心に残る思い出の場所」、小野副会長にビデオ撮影してきていただいた故郷小樽の映像が始まり、小樽商大、校門入口、木造の古い体育館、水天宮神社、小樽港、三角山：等々たくさん場所が映し出され、今昔の思い出話で盛り上がりました。

母校は無くなりませんが「同窓の絆」を強めるための今年度の企画として、昭和58年卒以降の会員ご招待をいたしましたところ、8名もの68・73期の皆さんの参加がありました。壇上で元気な自己紹介をしていただいていた会場は一挙に若返り、これからの参加活躍を期待いたしました。

続いて、遠路からご参加の方、初参加、お久しぶりの方々にも壇上での自己紹介をしていただきました。小樽にゆかりのある歌がBGMとして流れる中、お楽しみ抽選会に入り、会場の「東京ガーデンパレス」様から食事券、会員から提供のワイン、尊商会タオルなどのジャンケン争奪戦は皆さん立ち上がって参戦、大いに盛り上がりました。

最後は、元応援団長49期千代さんの音頭で、初参加・幹事の若手が揃って壇上、

同窓の絆



平成27年東京尊商会「同窓の絆」
「今年こそ!!同窓の絆を深めよう!!」



平成27年10月17日東京尊商会「同窓の絆」
ホテル東京ガーデンパレスに於いて

43期：井筒 雅子 非常に残念です、10月初旬に小樽へ里帰りし、母校を見に行きました。少々淋しい気持ちと共に地獄坂を下りてきました。

43期：今野 肇 人口減で廃校は仕方ないと思いますが、商都小樽の発展のためにも、実践的勉強をする商業科は残してほしい。

43期：横田 敏郎 母校がなくなることは、小樽に生まれ育った想い出は無くなりません。夢に見る母校、非常に残念ですが地方の町として又新しい学校として生きていきたいです。

46期：池田 友子 今回初めて参加させていただき、盛大な会に驚きと喜びで一杯です。今年9月稲穂小学校のクラス会で訪れ、友人とレンタカーで緑陵近くまで行きました。想像以上の急傾斜に日頃の運転でも恐ろしさを感じました。

46期：高橋 和子 本日はありがとうございました。久しぶり(1年)に懐かしい顔に会え、非常に嬉しかったです。フレッシュな顔ぶれもあり、時間の過ぎるのも忘れるほどでした。幹事の皆さま、ありがとうございました。

46期：倉重 敬子 1年に1回ではありますが先輩・後輩の垣根を超えて語り、会えることが楽しく思えるのは、自分が年齢を重ねてきたことかしら、でも話をしなくても良いのか、同じ学窓の絆だけで解りあえる人間の絆こそ大事にし、宝物にしたい気持ちです。

47期：山田 幸雄 時代の流れとしては、当然だ。悲しいけどね。

49期：千代 博 永遠に続くことを願う。“尊商會に誉あれ”

49期：小野 政春 永い緑陵の歴史に刻まれた素晴らしい会でした。いつまでもこの様な会が続くことを心から願っております。

51期：菊池 幸四郎 想い出の奥に霧がかかってきました。なれ親しんだ木造の母校から、コンクリートの校舎でがっかり！其の校舎もなくなり、跡形もなくなるのか……。

51期：小林 伸二 校舎高台の木造の歴史ある緑光寮もなくなり、根幹をなす母校までもがなくなる。教室の窓越しに四季の小樽港が見え、目に焼き付いておりますが、母校がなくなるとは、至極残念でなりません。「同窓の絆」で、故郷のなまりを聞きつつ、これからも続けてほしいものです。

51期：村井 健 木造の校舎など、それだけでも残念と思っていたのに母校がなくなる？在校時は同学年10組。学校がなくなるとは考えたこともなく。帰省するたびに必ず母校や寮へ旧友とともに訪れ、旭展望台から見る小樽港・潮見、築港、倉庫群、高島、祝津などいつも懐かしを感じる光景で楽しんでいました。高校に留まらず、小樽が無くなるのでは？と心配です。

55期：徳光 礼子 久しぶりの「同窓の絆」に参加して浦島太郎の心境ですが、若い後輩の参加に、会の明るい未来を感じ暖かくなりました。先輩方の頑張りに改めて尊敬の念を抱きました。これからも年代を超えたお付き合いが出来ますように！望みます。

55期：大高 敏孝 廃校式典に出席することが、生きる目標の一つです。

68期：成沢 桂 大変な事とは、大切な事、同窓会にとっては色々大変な時期ではありますが、この時を乗り越えてこそ大切な絆が深まると思い、頑張りたいと思います。

68期：金沢 一弘 高校3年間の想い出が詰まった校舎が廃校となることは非常に残念ですが、いつまでも想い出を胸に同級生たちと嬉しい思い出話が出来ればと思います。

69期：井上 和弘 今日は若い世代の参加が多く、とても嬉しい限りです。今後もこの尊商會を若い世代で、盛り上げていけるように頑張ります。

35期：亀山 利美 小樽市の行政の不具合である、100年の歴史ある庁商の閉鎖は小樽市の商工会の怠慢が頂点に達した。これで小樽市の将来は希望を失った。

41期：山本 スミ子 淋しい限りです、22年間慣れ親しんでいた、緑陵高校、私の自慢の坂道の上の高校、西部先生、故・稲見先生、小川成美校長と走馬灯のように思い出します。これからは、「東京尊商會」を楽しみに致します。

41期：斎藤 勝 小樽を離れて67年、東京尊商會に参加する度に、ふるりの小樽の想い出を強烈に引き戻されてしまう。今は、鎌倉で小樽の楽しかったアルバムを見ては、息子や娘に機会あるごとに小樽の良さをつい話してしまう。それだけ、小樽は素晴らしいところである。

41期：佐藤 啓子 前回の「麦笛」を母校の廃校を知り、「これで小樽に行くことは無い」と淋しい気持ちになりました。しかしながら東京尊商會には出席し続けようと思つたものです。関係者の皆さん頑張ってください。

41期：丸岡 敬春 高校統合……>高校逃亡か

41期：砂川 行江 小樽を離れて丁度50年、金婚式を迎えました。二人で始まった家族が13人に増えました。東京尊商會で小樽の空気に浸ることが、何よりの楽しみです。今後も続けられます様お願い申し上げます。

41期：宮川 睦子 両親を送り、なかなか小樽へ行く事が無くなり、地獄坂が懐かしいです。高校生活の楽しかったこと、学校が無くなるのは、やはり寂しいです。

41期：植松 節子 新鮮な新会長の中村氏を選んでいただき本当に嬉しく思います。古い形の美しさを否定するつもりはありませんが、新しい時代を迎えた喜びがあります。学校が無くなっても、同窓の志が気持ちよく繋がっていければ、それで良いと思います。

41期：増子 伊都子 小樽商大の附属高校にして欲しいと思います。

41期：福原 英司 幹事さんご苦勞様！世代が若返ってきて、プログラムも変化が出てきて良かったですね。これからは、新しいこと、事前取り組みが必要ですね、成功は一発で決まりません、繰り返し取り組むことが必要。

41期：星 観二 母校は無くなりますが、卒業生は不滅です。尊商會バンザイ！

42期：鈴木 勝 緑陵は、無くなっても「緑陵魂」は、永遠に！

42期：鈴木 徹夫 母校廃校は小樽同期生より、FAXあり、4月廃校の由、私の人生で4の数字がついて離れません。生まれが4月2日、入学試験番号481番、卒業34年、42期……何とも4につかれていますのでしょうか。後死4のみです。

42期：谷口 松生 隣近所が緑陵高生え溢れかえっていた頃を懐かしく思い出します。我が家は、男4人兄弟で、その連れ合い2人も緑陵ですから、兄弟が集まると即「尊商會」です。

42期：輪島 正 商都小樽から商業の灯を消さないよう、皆で頑張ろう。「尊商魂」は永遠に輝く。

42期：大津留 君枝 東京尊商會に常時100名の出席は、とても誇らしく思い、友人に話していましたが、友人たちには信じてもらえないくらいでした。今後も母校が無くなっても、「同窓の絆」を深めて行けたらと思っております。また、来年も元気で出会い出来たらと思っております。

42期：山田 美江 春薫る4月あの地獄坂を上り、通学からもう半世紀以上が過ぎ、すでに後期高齢者です。年一度集う東京尊商會は、唯一青春を思い懐かしむひと時です。皆さま、いつまでも お元気で！

43期：中田 宜彦 残念の一言です。『同窓の絆』が続くよう会長他役員の方宜しく願います、「頑張ろう！尊商會！」



尊商会本部事務局長・小谷睦雄（42期）



最長老・亀山利美（35期・昭和27年卒）、
と最若人・渡辺一志（73期・平成2年卒）



37期、昭和29年卒～40期、32年卒



▲42期、昭和34年卒
▼51期、昭和43年卒



後列左より藤田顧問・谷沢幹事長・島相談役。前列左より、土部（34期）、新山校長（57期）中村会長（41期）、大森本部長（51期）



▲気合い！ 拳をあげて！



▲応援団。中央は元応援団長の千代（39期）



▲41期、昭和33年卒
43期、昭和35年卒▶



◀68期～73期



東京尊商会 同窓の絆 2015・10・17 PHOTO

お知らせ

次回の東京尊商会総会は 平成 28 年 10 月 29 日 土曜日

13:00～16:00 (時間が変更してます)

場所:「ホテル東京ガーデンパレス」御茶ノ水駅下車

平成 26 年度・東京尊商会会計報告

平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 31 日

東京尊商会・会計監事

収入の部				支出の部			
項 目	内 訳	金 額	金 額	項 目	内 訳	金 額	金 額
繰越金	前期より		1,004,348	支出計			1,283,326
	普通預金	152,058					
	郵便当座預金	830,244		総会費	総会関連費用	667,762	
	手持現金	22,046		印刷発送費	総会案内・報告等	244,333	
収入計			1,487,028	会報費	麦笛 21・22 号発行費	123,920	
総会会費	¥7000×88 名	616,000		会議費	役員会・会合等	151,323	
	総会寸志・祝金	37,000		事務費	事務用品費	32,458	
年会費	@1000×334 名	334,000			H P 管理費	16,386	
	(会場分含む)			手数料	会費振込手数料	7,144	
その他収入	寄付金・保志様	500,000		慶弔費	祝金・見舞金	10,000	
	預金利息	28		繰越金	次期へ		1,208,050
					普通預金	69,382	
					郵便振替	1,127,100	
					手持現金	11,568	
合 計			2,491,376	合 計			2,491,376

事務局へのご連絡は 浜谷哲男 TEL ()

会員の住所変更など、気軽に相談下さい。ご意見大歓迎！

編集後記

10月17日東京尊商会「同窓の絆」が、盛況に開催され、私が十数年来総会に出席してきて、一番の変化は、50歳前後の若い後輩が10数名近く出席頂いたことです。

今まで幹事会で何度となく若い人の集客に知恵を出し合い議論してきました。中には「自然体でいいんでないか！」と言う意見もありました。

今回の提案は、一番若い幹事の方からの提案で、総会案内書も若い方用に案内状を別途作成致しました。

私も東京尊商会50周年誌を見て、43期の在京者82名、……、49期76名、50期53名、51期43名、52期51名、53期38名、ガクンと減って54期9名、55期以下一けたの在京者、62期から極端に少なく1名前後？が在京者の登録人数です。

ですから、対象人数が少ないため、当然該当出席者は「少ない」という事になります。

いくら施策を練っても対象者が少ないのです。今回も案内状1376通発送し、どうか一と思いつつ、開催1週間前に事務局に問い合わせましたら、10名近くの若い後輩が出席であることを聞き、大変驚きました。

先輩方の子供の年齢です。小樽商業の門を潜り抜けてきた若人に親しみを感じ、何かしら壇上での拍手喝采の楽しいひとときを過ごしました。

来年も是非ご出席願いたいものです。

村井健 51期